

令和4年度 第2回 学長選考・監察会議議事要録

日 時：令和4年6月6日（月） 11：35～12：20
場 所：オンライン会議（Teams）
出 席 者：種田委員（議長）、生田委員、佐々木委員、沼田委員、
原口委員、野崎委員、岡田委員、乾委員、宮口委員
欠 席 者：尾崎委員、小野寺委員、西川委員
監事監査規則第9条第2項による出席者：中根監事

議 題

審議事項

- 1 学長の業績評価における評価方法及びスケジュール等の確認について
- 2 学長の業績評価における学長選考・監察会議が必要と認める資料について
- 3 学長選考・監察会議委員の選任方法の公表について

議 事 概 要

I 議事要録の確認

議長から、前回の学長選考・監察会議議事要録について、既に大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

II 審議事項

- 1 学長の業績評価における評価方法及びスケジュール等の確認について
議長から、今年度行う学長の業績評価における評価方法及び具体的なスケジュール等について、資料1の内容に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、総務課長から説明があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

【主な意見】○委員 ●議長・事務局

- どのような判断で評価を行えばよいのか。
- 次回行われる学長のプレゼンテーション、委員との質疑応答、学長退出後の委員同士の意見交換の内容を踏まえ、年度計画の達成状況や財務諸表、事業報告書等の資料を参考に、各委員の視点で評価を行っていただきたい。
- 学長の業績評価は公表されることのほか、どのようなことに活かされるのか。
- 各委員の評価を取りまとめた総合評価書は議長から学長に手渡される。学長に総合評価書の項目ごとの点数やコメントを見てもらい、今後の大学運営に活かしてもらうことも目的としている。
- 点数の指標とするため他大学での学長業績評価の平均的な点数を知りたい。
- 評価方法は各大学で決めており、学長業績評価で点数を付ける例は非常に少ないと思われる。参考として、過去に作成された評価書を見てもらうことは可能である。
- 学長個人が行った教育、研究、地域連携なども評価の対象となるのか。
- 法人の長としての評価であり、個人の評価ではない。

2 学長の業績評価における学長選考・監察会議が必要と認める資料について

議長から、今年度行う学長の業績評価における学長選考・監察会議が必要と認める資料について、資料2に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、総務課長から説明があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

【主な意見】○委員 ●議長・事務局

- 学内委員は他大学の情報や他の資料等を目にする機会もあるが、それらは参考にしても良いのか。
- 各委員個人の視点で評価を行ってもらって構わない。

3 学長選考・監察会議委員の選任方法の公表について

議長から、学長選考・監察会議委員の選任方法の公表について、資料3の内容に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、総務課長から説明があり、審議の結果、文言の追加修正を行うこととし、事務局から修正版を各委員に送付し、確認後に公表することとした。

【主な意見】○委員 ●議長・事務局

- 学部長や経営協議会委員は学長が任命しているという事実を追記してはどうか。
- 追加修正したものを各委員にメールで送信し、確認してもらうことで対応したい。

4 その他

次回は7月28日（木）15：30からオンラインで開催する。